

第4期第2回松本市地域づくり市民委員会 会議要旨

開催日時 平成30年3月26日（月曜日） 午後2時から午後4時まで

開催場所 松本市役所 本庁舎3階 第1応接室

出席者（敬称略）

委員 廣瀬豊（委員長）、平林大喬（副会長）、姥貝勇、大澤好市、
木次由美子、倉澤聡、小林修、近藤博志、佐藤佳子、松澤幹夫、
宮下鉄

（欠席 赤沼留美子、草深邦子、角野園恵、降旗都子、古幡安志、
宮林孝子、）

事務局 地域づくり課 課長 西澤広幸、課長補佐 廣田圭男、
主事 白澤隆文 主事 上條友里香

1 開会

（進行 事務局 地域づくり課長 西澤）

2 あいさつ

（廣瀬委員長）

- ・前は皆さんの自己紹介や意見をいただいたが、今回はもう少し色々な話を聞きながら、この先の進め方を決めていきたい。

3 会議事項（議長 廣瀬委員長）

(1) 地域づくり推進体制について

【委員長説明】

（廣瀬委員長）

※資料「どうする？松本市の地域づくり」に基づき説明

- ・今日はワールド・カフェを実施して意見交換を行い、今後のテーマを決めていきたい。

【質疑等】

（小林委員）

- ・「松本市の地域づくり」というテーマは大きくて議論がぼやける可能性がある。例えば居住地に限って考えるなど、絞り込む必要があるのではないか。

（廣瀬委員長）

・そういったことも含めて皆さんで話していただきたい。

【ワールド・カフェでの主な発言要旨】

◆意見交換

区分	意見の内容
地域の現状	<ul style="list-style-type: none">・近所付き合いが薄い・引きこもり・孤独死・子どもが出て行ってしまう（住んでいるのに隣の学区へ）
町会の現状	<ul style="list-style-type: none">・わかりづらい・組織体制が限界にきている・役員の担い手がいない・役員になりたがらない・負担感が大きい・言えない空気
どうしたら町会活動に参加したくなるか	<ul style="list-style-type: none">・町会長は面白い・わくわく感・興味を引く・好奇心・遊び心が大切（ウォークラリーで危険箇所探し）・きっかけづくり・目立つことを言いやすい雰囲気・オープンに（収支決算書）・わかりやすく・皆に支持される町会づくり・参加したくない人をどう巻き込むか・気楽に参加できる雰囲気・もっとディスカッションを・ワールド・カフェは地域づくりの基本手法
地域のお宝	<ul style="list-style-type: none">・世代を超えて共有できる核になるもの・運命共同体・伝統行事・外からの視点を借りる・新しい行事を始める・新しい価値を生み出す

	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた環境
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成が大切 ・地域で子どもを育てる ・若い人を巻き込む ・大学との連携（学生の参加） ・町会は町会長しだい ・機会を与える ・経験で育つ ・良い活動をしている人をリサーチする ・外から来た人が新しい風を吹き込む ・外から来た人が面白いことをする
どんな地域にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンやバックキャストが必要 ・地域独自の「らしさ」 ・合併により地域のカラーがなくなってしまう ・ホラを吹き続ける
町会と行政の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町会と行政の目的は同じ。どう機能させる？ ・市町会連合会の役割は？ ・公民館の活用 ・地域づくりセンターとの協働がまだ手探り状態で住民に広まっていない ・行政は各課の横の連携と意思統一が必要
地域とNPOの協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地区によって条件が整わない、出来ない ・協力してくれる団体がない

◆委員会において検討課題としたいこと（各委員が付箋に記入）

区分	検討課題
事例研究	<ul style="list-style-type: none"> ・好事例の紹介・検討 ・町会間の交流について
意識改革	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、まち、町会に対する好奇心を生む工夫 ・問題探求、問題設定ができる地域づくり ・観察力、探究心を高め地域の読み解き方を共有する ・新しい視点 ・「地域づくり」の住民への周知
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを担う人づくり ・人材教育について（リーダーづくり） ・女性の町会参加について

	<ul style="list-style-type: none"> ・埋もれている有能な女性の発掘（PTA役員OBの町会への参加促進） ・「男性」の町会？「女性」の福祉ひろば？みんなで一緒に助け合い支え合い！！ ・若い世代が地域で活躍する場を（高齢者はサポート役に） ・子どもや子育て世代（親）をどう「地域」に巻き込んで活かすか ・子どもを地域で育てよう ・スキルのある面白いよそ者を地域に送り込む仕組み
町会	<ul style="list-style-type: none"> ・町会をどのようにわかりやすく伝えるか ・町会の必要性をどう伝えるか ・わかりやすい町会運営 ・町民の意見の汲み上げ ・誰でも気軽に自由に意見が言える機会と場を作る ・地域の中のコミュニケーションを育むために必要なことは？ ・町会に入る入らないは別として、地域に生活する者同士の助け合いから地域活性化へ ・役員の負担軽減 ・現役でも町会役員ができる町会運営の仕組み
地域のお宝	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事の在り方と継承 ・地域の行事を活かして子どもを育てよう ・地域のお宝（観光の目玉、人材）の洗い出し、共有、利用、育成

(2) 今後のスケジュールについて

【事務局説明】

（事務局 上條）

- ・資料に基づき説明

【質疑等】

- ・なし

(以上)